

富士川町の自然と歴史を未来へつなぐ 共創を生み出す学び舎

名 称：(仮称)富士川町立統合中学校建設工事設計業務委託	道 路：東側道路幅員 =8.0m
建物用途：教育施設 建築基準法：08090	西側道路幅員 =6.0m
消防法：7 項(中学校)	南側道路幅員 =6.0m
計画場所：山梨県南巨摩郡富士川町天神中條 991 番地 1	北側道路幅員 =4.0m→拡幅工事後 6.0m
用途地域：都市計画区域内、第一種中高層住居専用地域 建蔽率 60%、容積率 150%	建物規模：校舎 鉄筋コンクリート造 3 階建 / 渡り廊下 鉄骨造平屋
防火地域：指定なし	建築面積：校舎 1,883.06 m ² / 渡り廊下 156.15 m ²
工 期：令和 7 年 8 月～令和 8 年 12 月	延床面積：校舎 5,018.84 m ² / 渡り廊下 — m ²
敷 地：24,277.66 m ²	
日影規制：高さ 10m 超、測定面 4m、規制値 4-2.5 h	

コンセプト

はじめに

(仮称)富士川町立富士川中学校の仮校舎となる増穂中学校は、昭和 46 年に建設され、築 50 年以上が経過し老朽化が著しくなっている。また、令和 4 年 11 月に「新たな中学校の方針」が策定され、生徒の安全及び現在の教育内容にあった教育環境を確保するため、校舎の建替え及び敷地内施設の整備を行うこととなった。

新たな中学校の方針

設置理由

富士川町の全ての生徒が、多様な人間関係を築きながら切磋琢磨し、協調性や社会性を育む機会が得られるよう、教育環境を整備する必要があるから

設置方法

増穂中学校と鰍沢中学校を統合し、両校の歴史や伝統を併せ持つ、新たな中学校を設置する

令和 7 年 4 月に新たな中学校を開校、令和 9 年度夏季休業中に新校舎へ移転開校から新校舎への移転までは、増穂中学校を仮の校舎とする

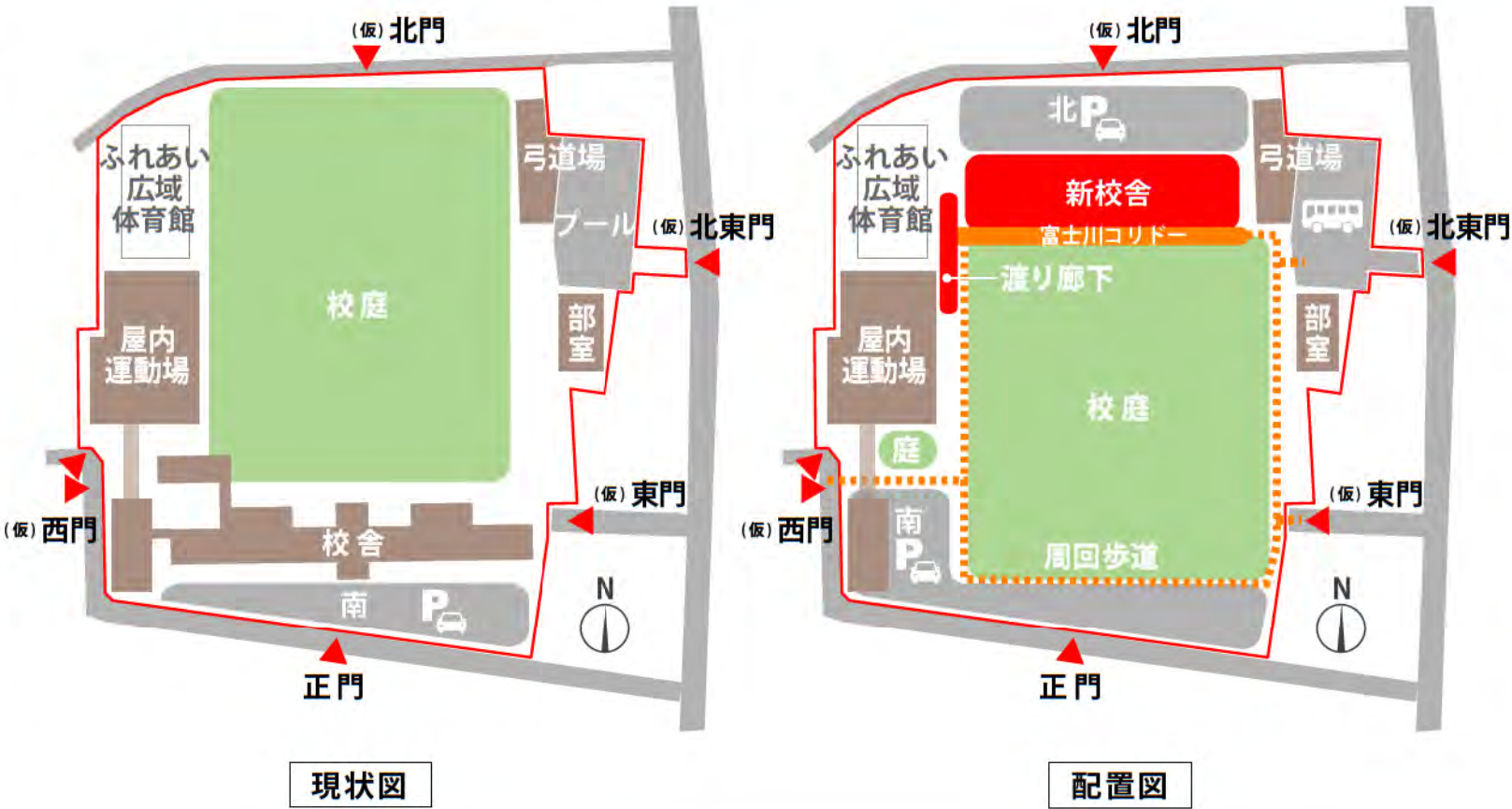
学校経営案(抜粋)

校訓

「共創」多様な価値観を持つ仲間とともに学ぶなかで、将来への希望・目標・使命の実現を目指す。

新たな中学校の方針ならびに学校経営案を受け、本計画は以下の 4 つを主な設計コンセプトとして立案している。

配置計画



- ①敷地南側の既存校舎を仮設校舎として利用するため、新校舎は校庭を既存同程度に確保しながらも、北側近隣への日影に配慮した位置
- ②新校舎と校庭の間には、屋根付き歩廊「富士川コリドー」を整備
- ③屋内運動場へは屋根付きスロープにてバリアフリー動線を確保
- ④各門からの多様なアクセスと現状の小学生の登下校ルート等の利用形態維持に配慮し、校庭周囲に歩道を整備(赤道は廃止)
- ⑤スクールバス等の大型車両の乗り入れは、東側の大通りからとし、近隣交通へ配慮(職員・来客は北側駐車場、屋内運動場利用者は南側駐車場)

設計コンセプト

富士川町らしさ

豊かな自然を享受し、歴史的価値を再認識する場所

学校経営案

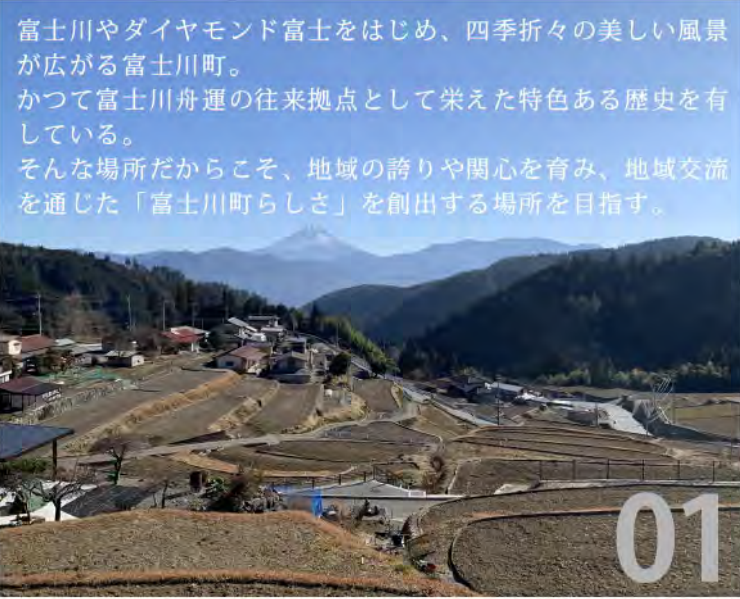
多様な価値観をもつ生徒が共に学び、創造する場所

地域貢献

帆を張り、日本そして世界への船出となる場所

環境教育

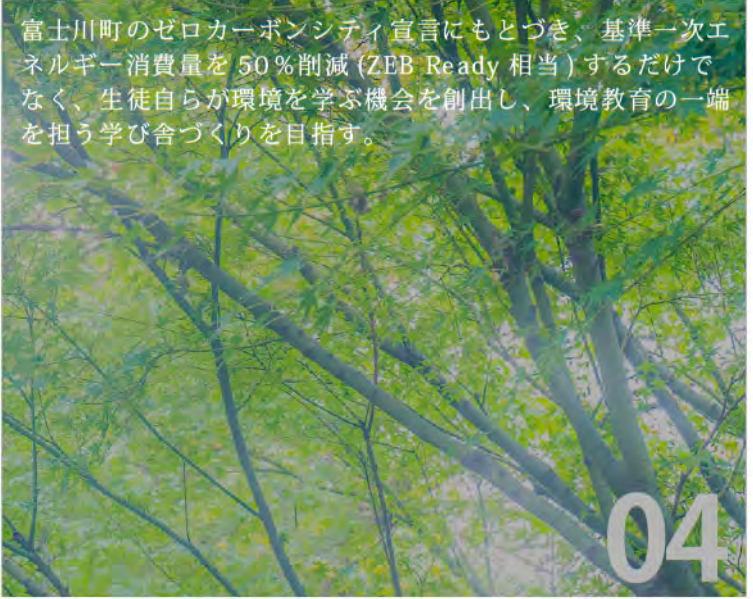
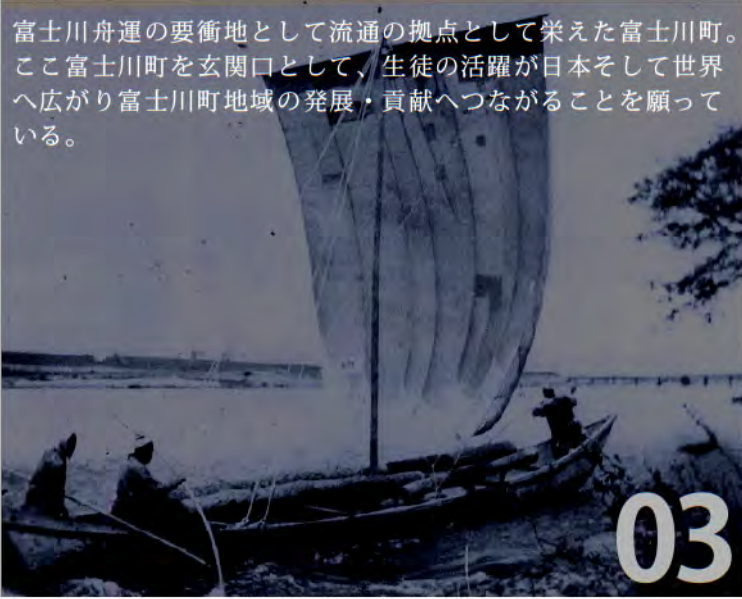
地球環境や持続可能な社会の構築を生徒が自らが学ぶ場所



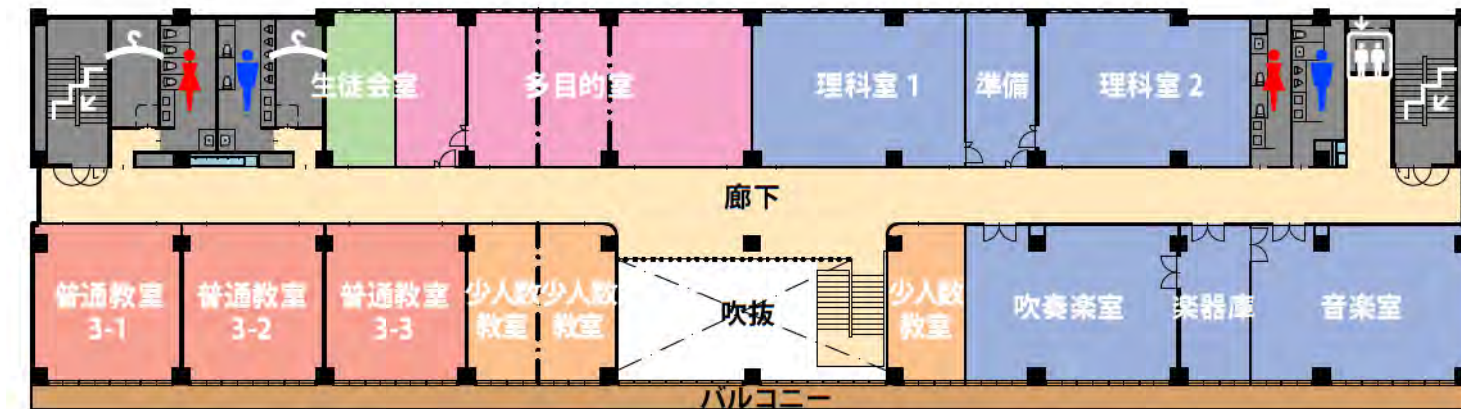
→外観モチーフ、オープンスペース



→ゾーニング、プランニング

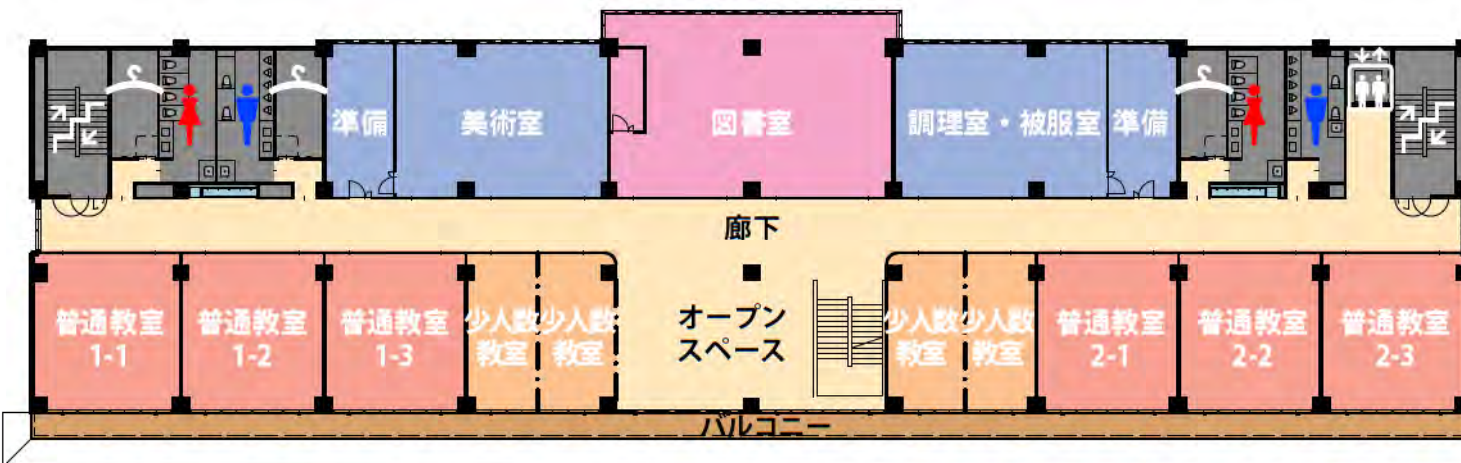


→BEI=0.5 以下、環境配慮の見える化 P-01



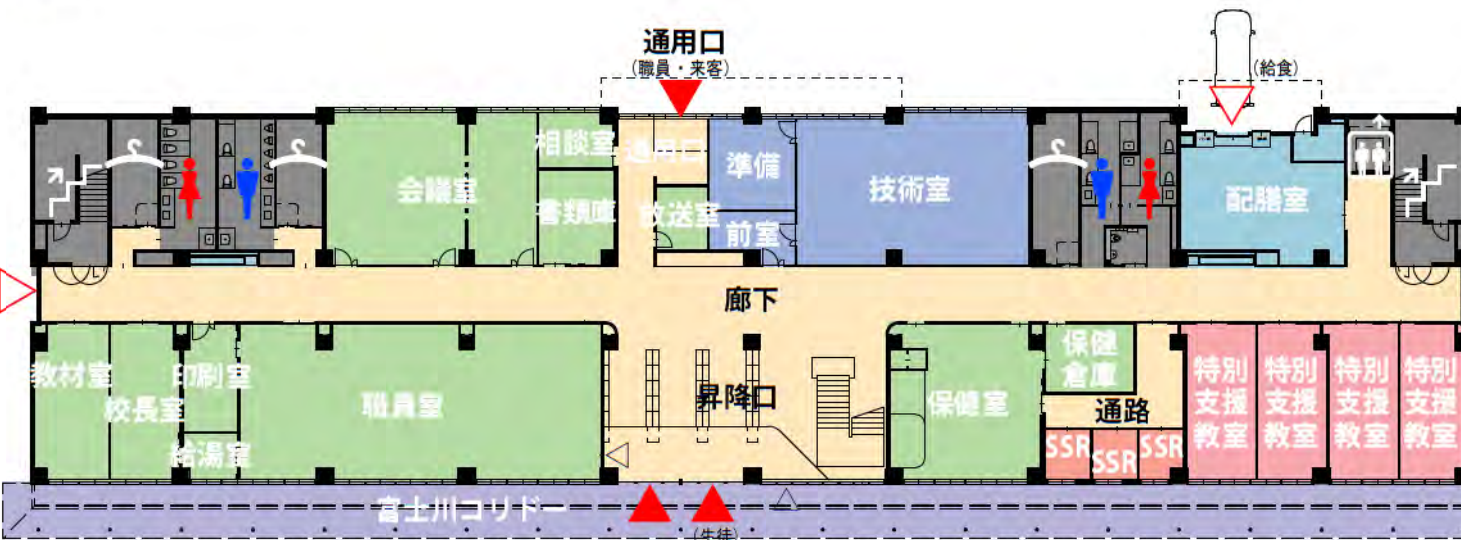
3F

(2) 多様な学習内容・学習形態が可能となる学習環境づくり
→多目的室や少人数教室のフレキシブルな利用



2F

(1) コミュニケーションを創出する場所づくり
→オープンスペースと図書館を中心とした学び舎



1F

(3) 一人一人の多様性を尊重する生活環境充実
→各学年専用のトイレ・更衣室、SSRの整備



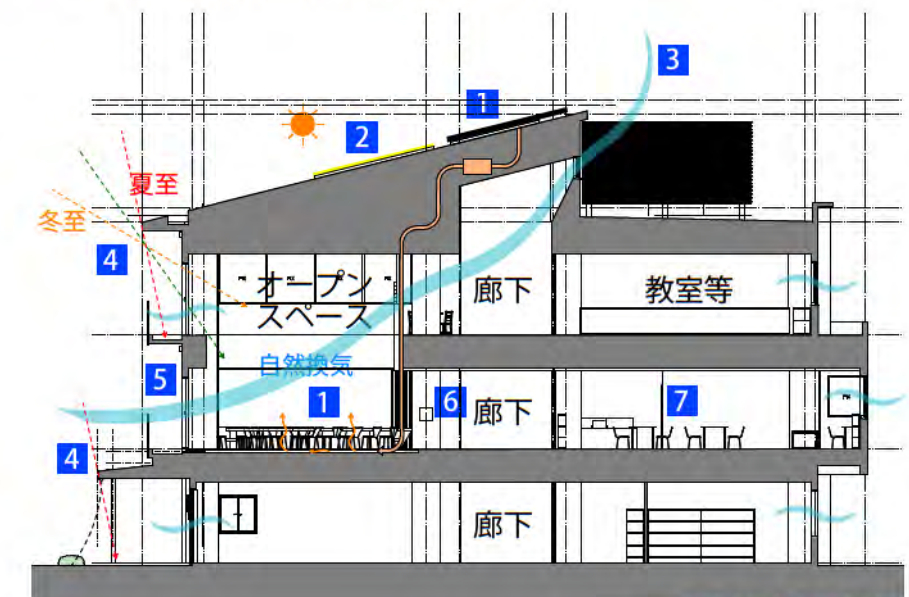
舟蔵を想起する富士川コリドーを中心としたのびやかな学び舎

- ① 舟蔵を想起する外部歩廊空間「富士川コリドー」と白・黒+木材を基調とした色彩
- ② バルコニーや底による 80m の水平ラインを基調としたのびやかな形態
- ③ のびやかな形態の中に、校舎の中心性を表象する中央空間
- ④ 南側校庭から景観を意識した 80m の勾配屋根と北側近隣への日影に配慮した陸屋根

持続可能な社会の構築を目指し、生徒自らが学ぶエコスクール

多様な環境配慮項目により、BEI=0.5 以下および環境教育が充実したエコスクールの実現を目指します。

- 1 太陽熱集熱式パッシブソーラーシステム：自然エネルギー活用による空調負荷低減
- 2 太陽光発電パネル
- 3 ソーラーチムニー（自然換気）
- 4 深い軒とバルコニー：日射遮蔽
- 5 高断熱外皮：熱負荷低減
- 6 エコモニター：見える化、環境教育
- 7 LED 照明・高効率空調+全熱交換機
- 8 井水利用：校庭散水利用等



環境配慮項目断面

富士川町らしさを象徴する共創に満ちた (Full) 場所

CoFull コフル
Co-Creation Fujikawa Hall
共創 富士川ホール

内装計画は、校舎の中心であるオープンスペース「コフル」を主軸として、校舎全体の内装を計画する。コフルは、校訓「共創」としての機能と富士川町らしさの融合を目指し、5つのテーマにより富士川町を感じられる空間づくりを目指す。

